

## 9. 高大接続事業

高大接続事業の一環として8月に高校生向け「公開講座」、2月に「高校生ワークショップ」を計画し、本学等を進学に考え、さらには教員を目指す生徒を対象に事業を展開した。

### (1) アドミッションセンターとの連携による「公開講座」

公開講座「これからの教師の姿を考えよう」を8月9日に実施した。定員40名の予定だったが、盛況で定員をはるかに超えた68名希望者があった。この企画に対する高校生からの期待は大きい。グループワークを通して、「これからの理想とする教師の姿」をプレゼンする企画であり、動画編集アプリ(i-Movie)を使って発表にそれぞれのグループが意欲的に取り組んでいた。まさにアクティブラーニング的な活動であった。参加した生徒たちは、プレゼンをはじめ、諸所の活動を楽しんでいた。

### (2) 本学学生対象ワークショップ

9月19日に本学教育学部以外の1年生を対象の中心にした初期段階からの意識づけとして、茨城県教育研修センターとの初めての連携事業として企画した。招聘講師谷田部博貴氏の講演「高校教員のライフプラン」では、高校教員のメリットが経済的側面から明らかになり、極めて興味深いものであった。安藤県教育研修センター長をはじめ、菊地次長、薄井課長、糸川主任指導主事他2名の指導主事が列席・参加され、講演会、模擬授業そして若手高校教員とのディスカッションと短い時間ではあったが、高い教育的効果があった。



### (3) 高校生ワークショップ

2月2日日曜日に高校1・2年生対象ワークショップ「茨城県の教員を目指す君たちへ」を実施した。市内9校より33名の高校生が参加した。茨城県子教員採用試験の現状を踏まえ、本教育学部のPRも兼ねて、教員の魅力を探っていく企画である。グループワークによる動画作成によるプレゼンテーションを行い、高校生の考えている先生像を作り上げた。高校生たちは、グループワークを通し、他校生との交流やみんなで作り上げていくアクティブラーニング的な活動に満足していた様子であった。

